

キャスト、AIファースト経営を加速！  
AI駆動開発で業務オペレーションを刷新

Caster

## AIファースト経営を加速 AI駆動開発で業務オペレーションを刷新

株式会社キャスト（本社：東京都千代田区、代表取締役 中川祥太、以下「キャスト」）は、「AIファースト経営」への移行を加速させ、業務オペレーションの全面的なAI駆動化を実施します。全社の業務プロセスを見直し、AI駆動開発を基本オペレーションとして導入することで、生産性の大幅な向上を図ります。

具体的には、社内で使用するパワーポイントやワードファイルをAI用に最適化されたマークダウンファイル形式に切り替え、文書管理の効率化を進めます。また、バックオフィス部門への社内問い合わせ業務は、NotebookLMなどのAIチャットボット対応に切り替え、迅速かつ効率的な業務運営を実現します。

これらの取り組みを支えるため、全従業員を対象にAI研修を開始しており、AIリテラシーを強化しています。実践的なスキルを習得することで、従業員一人ひとりがAIを活用した業務改革を推進できる環境を整えてまいります。

## ■ 「AIファースト経営」への移行と全社的な業務改革

AI技術の進化は、企業経営における生産性向上だけでなく、競争優位性を決定づける要因となりつつあります。

キャスターは、この変化に対応するため、業務のあらゆる領域でAI活用を前提としたオペレーションを確立します。

AI導入で業務生産性を10倍以上に

本格的なAI活用を進めることで、業務効率は少なくとも10倍以上向上すると試算しています。従来の業務プロセスの見直しや部分的な効率化ではなく、AIを軸にした新しい業務モデルの構築を推進します。

AI駆動の情報管理と社内対応

業務のデジタル化をさらに進めるため、以下の施策を即時導入します。

- ドキュメント管理の最適化
  - 全社のスライド・ワード資料をマークダウン (.md) やYAML (.yaml) 形式に統一
  - AIによるデータ処理・分析を容易にし、業務の自動化・最適化を加速
  - pptxやdocxは原則として使用せず、顧客への提出資料も例外なくAI対応フォーマットに移行
- 社内問い合わせ対応の自動化
  - NotebookLMを活用したAIチャットボットを窓口とし、労務・法務・総務などの社内問い合わせをAI対応へ一本化
  - 人的対応はAIで処理できない例外ケースのみとし、管理業務の負担を大幅に軽減

この取り組みにより、単なる業務効率化ではなく、企業全体の競争力強化を実現します。

業務改革前	業務改革後
 <p>情報管理の分散    手動作業が多い</p> <p>機能不足    高コスト</p> <p><b>AIに仕事を奪われる 人手不足</b></p>	 <p>情報の一元管理    柔軟な機能提供</p> <p>業務の自動化・効率化    コスト削減</p> <p><b>業務効率の大幅な向上 AI時代に活躍できる人材創出</b></p>

## ■ 導入するAIツールと活用方針

キャスターは、AIを活用した業務改革を推進するため、以下のツールを導入します。

### 全社導入ツール

- Perplexity（リアルタイム情報検索・要約）
- NotebookLM & Gemini（情報管理・ナレッジ共有）

なお、今後の情報伝達は、全社的に「テキストファイル+動画説明」を基本とし、パワーポイントやワードベースの非効率な業務スタイルから脱却します。

### 部門導入ツール

- GPT / Claude（文書生成・業務支援）
- Dify（ノーコードワークフロー管理）
- Cursor / v0（AI駆動開発）
- Gemma（セールスマーケティング）
- NoLang（動画自動生成・説明コンテンツ作成）

職種ごとに最適なAIツールの導入を進めており、セールスマーケティングでは、Gemmaをはじめ、動画生成ツールやCRMツールを導入しております。

先日発表した「CASTER NEO」のサービスサイト制作（※）では、Cursorやv0を活用し、AI駆動開発体制を構築しました。この取り組みにより、開発プロセスの効率化を実現し、より迅速かつ高品質な制作を可能としています。

（※）ご参考「CASTER NEO」サービスサイト <https://ai-agent.cast-er.com/>

## ■ 今後の展望

キャスターは、今後もAI駆動開発を基本オペレーションとする体制を強化し、AIを活用した業務改革を推進します。

次のステップとしては、全社員がCursor等を活用し、AI駆動開発を標準業務とする環境を整備することで、開発・業務のさらなる自動化を進め、企業全体の生産性を飛躍的に向上させる予定です。

さらに、社内で蓄積したAI活用のノウハウを基に、クライアント企業へのAIソリューション提供を強化します。今後、キャスターはAI駆動型のビジネス変革を推進する企業として、引き続き業界の発展に貢献してまいります。

---

<本件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先>

株式会社キャスター 広報担当 (pr@cast-er.com)